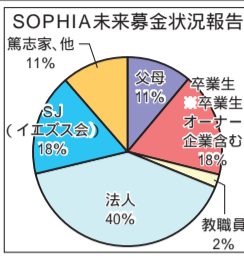


第21号 2016年(平成28年)4月25日発行

| 2015年度累計        | 3月31日現在     |
|-----------------|-------------|
| 区分              | 金額の合計       |
| 父母              | 37,544,183  |
| 卒業生 卒業生オーナー企業含む | 60,347,651  |
| 教職員             | 7,571,784   |
| 法人              | 135,723,626 |
| SJ(エイズ会)        | 58,898,910  |
| 篤志家、他           | 38,479,685  |
| 計               | 338,565,839 |

(円)



チエル株式会社様感謝状  
贈呈の様子

継続的にご支援いただいている木村芳正様ご夫妻

2014年度からスタートした「SOPHIA未来募金」。ソフィア・ファミリーの皆さまからの温かなご支援により、初年度に引き続き2年目の2015年度も目標額を大きく上回る3億円超もの寄付が集まりました。1年目に引き続き、ご支援くださった方々からの「上智学院の未来」へ向けた期待や想いが結

募金総額3億円超

2014年度からスタートした「SOPHIA未来募金」。ソフィア・ファミリーの皆さまからの温かなご支援により、初年度に引き続き2年目の2015年度も目標額を大きく上回る3億円超もの寄付が集まりました。1年目に引き続き、ご支援くださった方々からの「上智学院の未来」へ向けた期待や想いが結

## SOPHIA未来募金 2年目の実績

### 温かなご支援により目標額を達成

| 表 使途指定寄付(奨学金)                  | 2016年3月31日現在(円) |
|--------------------------------|-----------------|
| 用途                             | 累計額             |
| 留 ザビエル高校留学生奨学金                 | 44,305,000      |
| 留 イオン・スカラシップ                   | 9,240,000       |
| 留 被災学生支援                       | 6,541,234       |
| 留 上智大学後援会奨学金                   | 5,000,000       |
| 学 経済学部奨学金                      | 4,116,000       |
| 留 フリINGS・ヘフナー・マイスナー三権機奨学金      | 4,071,000       |
| 留 VOLVO SCHOLARSHIP PROGRAM    | 3,000,000       |
| 留 上智大学フォス神父・ディーターズ神父・木村芳正記念奨学金 | 3,000,000       |
| 学 理工学部奨学金                      | 2,888,000       |
| 留 プリズトン・インドネシア留学生奨学金           | 2,761,000       |
| 留 上智大学チエル株式会社記念奨学金             | 2,000,000       |
| 留 上智学院教職員寄付奨学金                 | 1,599,000       |
| 学 教育学科奨学金                      | 1,030,000       |
| 学 大泉奨学金                        | 1,000,000       |
| 留 二幸産業株式会社記念奨学金                | 1,000,000       |
| 学 理工学部同窓会奨学金                   | 800,000         |
| 留 ジョン・ニッセル杯スカラシップ              | 505,000         |
| 学 経済学研究奨励金                     | 500,000         |
| 学 上智大学独文・独語奨学金                 | 500,000         |
| 学 上智・聖母看護奨学金                   | 413,000         |
| 学 神学部奨学金                       | 393,576         |
| 学 ソフィアLAWファンド(奨学金)             | 300,000         |
| 留 短期大学部修学支援奨学金                 | 300,000         |
| 留 ミクロネシア短大留学生支援                | 250,000         |
| 留 ソフィア基金                       | 188,186         |
| 留 学生寮基金                        | 168,000         |
| 留 環境グローバル人材育成推進基金              | 100,000         |
| 学 松本あす加・ドイツ語学科奨学金              | 98,835          |
| 学 国文研究奨励基金                     | 50,000          |
| 留 (短期大学部)ジェラルド・バリー賞            | 46,000          |
| 留 金祝燦燦会奨励金                     | 43,000          |
| 留 被災学生支援(短期大学部)                | 37,130          |
| 留 社会福祉専門学校奨学金                  | 33,000          |
| 学 理工学部50周年(奨学金)                | 20,000          |
| 留                              | 96,296,961      |

= SOPHIA未来募金の概要 =

募金の名称  
SOPHIA未来募金

募金の目的

- 教育研究支援
  - 教育研究活動の充実(アンコール・ワット西参道修復工事支援、グリーンケア研究所等研究所・研究室・研究者への支援)
  - グローバル・リーダー養成(関連するカリキュラム、研究等の運営支援)
  - キャリア形成支援(関連するカリキュラム、講演等の運営支援)
  - 課外活動・ボランティア活動支援
- 奨学金の新設と拡充
  - 経済的に修学困難な学生(被災学生等)、海外留学を希望する学生・優秀な外国人学生への奨学金支援
  - 学部学科研究科等独自の奨学金支援
  - グローバルチャレンジ支援(海外留学・語学研修等の奨励)
- 教育研究環境整備支援
  - 新棟建築、四谷はじめ各キャンパスの整備・再構築

募金目標額  
2億円(毎年度)

募金期間  
4月1日～3月31日 毎年度募集いたします。

募金方法  
従来の方でお受けいたします。  
詳細は趣意書およびWEBサイト(<http://sophia100.jp/>)でお確かめください。

「寄付が絆を深める」

2015年度のご寄付の傾向として、奨学金に対するご支援が多かったことが特徴のひとつとして上げられます。

チエル株式会社様からはこのたび200万円のご寄付を頂戴し、これまでのご芳志の累計が1000万円以上となったため、感謝状を贈呈いたしました。四谷キャンパス2号館CALL教室におけるソフトウェアや英語学習システムのeラーニングプログラムをはじめとする学習環境構築の面でもご縁があり、日頃より学金は、学業成績が優秀な学生を積極的に受け入れるためにも、未来を見据えたこのようなご支援はますます重要かつ必要

戴しております。

「上智大学フォス神父・ディーターズ神父・木村芳正記念奨学金」には、木村芳正様(株式会社木村洋行代表取締役社長)より300万円のご寄付を頂戴しました。この奨学金は、学業成績が優秀な学生を積極的に受け入れるためにも、未来を見据えたこのようなご支援はますます重要かつ必要

なアフリカ出身の私費外国人留学生を対象に給付されるものです。留学生の比率としては極めて少ないアフリカ地域からの留学生を積極的に受け入れるためにも、未来を見据えたこのようなご支援はますます重要かつ必要

2015年度上智大学後援会からのご寄付によって実現した項目 < > 内は寄付金額

【教育研究環境改善援助】

- 中央図書館グループ学習室の机・イス取替 <420万円>

【学生の勉学研究活動支援】

- 後援会奨学金 <500万円>
- 東京国立博物館等のキャンパスメンバーズ制度年会費の補助 <100万円>
- 2015年度被災学生就学支援募金 <500万円>
- 上智大学全国高校生英語弁論大会「ジョン・ニッセル杯」奨学金 <50万円>
- ミクロネシア連邦ザビエル高校奨学金 <50万円>

【学生の厚生・保健関係助成】

- 課外活動団体への助成 <50万円(5団体×10万円)> (対象団体：アイセック上智大学委員会、剣道部、上智国際法研究会、Sophia Debating Society、Sophia Racing)
- 震災復興支援ボランティア活動への助成 <300万円>
- 学生食堂の朝食メニューの料金一部補助 <400万円>
- 2015年度秋学期において、2号館5階学生食堂及び9号館カフェテリアの朝食メニューの料金(350円)の一部を補助
- 非常食「救急島」(パンの缶詰)購入に対する補助 <200万円>

総額2,570万円ものご寄付を頂戴しました

朝食で1日をスタート

親友との交流も深まる

在学生のご父母・保証人等で構成される任意団体「上智大学後援会」。前年度に引き続き、2015年度も学生に寄り添った「親の視線」ならではのさまざまなご支援を紹介いたします。

親の視線から学生を支える

100円朝食で一日をスタート

昨年度、特に注目を集めたご支援のひとつとして、秋学期に行われた「100円朝食」が挙げられます。通常350円で提供される朝食メニューの一部を後援会が補助し、学生が利用しやすい価格にすることで、欠食をなくし規則正しい生活を送ってもらうことを主眼点として実施されました。後援会の期待に応え

上智大学後援会からのご支援

親の視線から学生を支える

100円朝食で一日をスタート

昨年度、特に注目を集めたご支援のひとつとして、秋学期に行われた「100円朝食」が挙げられます。通常350円で提供される朝食メニューの一部を後援会が補助し、学生が利用しやすい価格にすることで、欠食をなくし規則正しい生活を送ってもらうことを主眼点として実施されました。後援会の期待に応え

新6号館(ソフィアタワー)が竣工となります。上智学院の掲げる「叡智が世界をつなぐ」というスローガンのもと、グローバル化を展開する新たな拠点として「ソフィアタワー」が重要な役割を担うであろうと大いに期待されています。

3年目を迎えるSOPHIA未来募金。2017年1月には、いよいよ

寄付いただきました皆さまの温かなご支援・ご厚意に心より御礼申し上げます。

継続的なご支援を

「上智大学後援会」は、今年度も引き続き「100円朝食」を食べて授業に出ると、1日の流れが良いです。「月末の忙しい時に大変助かりました」といった感想が多く寄せられました。この企画は、今年度も引き続き実施させていただきます。多くの学生に利用してほしいと思います。

後援会入会のご案内

上智大学後援会では、2016年度もさまざまな行事を企画しています。(左表参照)

また、大学が5月末から全国13会場で開催する

| 2016年度 上智大学後援会年間行事予定表 |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 2016年4月1日(金)          | 新入会員歓迎会                |
| 2016年5月14日(土)         | 総会、講演会、懇親会             |
| 2016年10月22日(土)        | 秋の懇親会、講演会、課外活動団体助成金贈呈式 |
| 2016年12月中旬            | 関西地区懇親会、講演会            |

上智大学後援会 会員特典

- \*ソフィア・コミュニティ・カレッジ(公開講座)の受講料が2割引になります。また、年1回「教養・実務講座(一部を除く)」を体験受講することができます。(詳細は公開学習センターにお問い合わせください)
- \*本学図書館で図書の閲覧ができます。(入館の際に会員証のご提示が必要となります。)
- \*本学がパートナーシップを実施している近隣ホテルの後援会会員限定宿泊優待特典をご利用いただけます。
- \*サンマルクカフェ四ツ谷駅前店にて、商品購入金額が1割引になります。(会計の際に会員証のご提示が必要となります。)
- \*紀尾井ホールが主催する公演チケット料金が1割引になります。

後援会入会のご案内

上智大学後援会では、2016年度もさまざまな行事を企画しています。(左表参照)

また、大学が5月末から全国13会場で開催する

地域懇談会においても上智大学後援会についてご紹介するとともに、地方の各会場には、後援会役員のみならず、出張くださる予定です。上智大学後援会へのご入会手続きにつきましては、上智大学後援会事務局までお問い合わせください。

上智大学後援会とは

在校生のご父母により1973年に設立された団体。エイズ会所属の先生方が給与から最低限の生活費を除いたすべてを大学に寄付していることや、海外からの寄付に頼って施設を整備していた当時の状況を考慮し、父母の力で大学の発展を財政面から支援することを目的に発足。会員からの会費から最小限の事務経費と活動経費を除き、全額を大学に寄付している。寄付により実現した項目として、中央図書館建設への援助、グラウンドの整備、後援会独自の奨学金、学生課外活動団体への助成や東日本震災の被災学生への緊急支援奨学金、学食メニュー補助など多岐に渡る。

「Men and Women for Others, with Others」を体現する人材の育成を強化していくためにも、皆さまからの継続的なご支援・ご協力を引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



